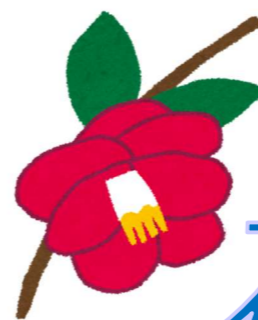


平成30年度 第4回 運営推進会議 (報告：引地)

11月30日に開催された会議の内容をご報告します。

- ◆行政より (角田市介護保険係：齋藤氏、地域包括支援センター：武田氏)
 - インフルエンザの流行る時期になってきたので予防のご協力をお願いします。小学校などで感染性胃腸炎が増えてきている。体調管理に気を付けてください。参加させていただく度に皆さんの笑顔にお会いできることが楽しみです。
- ◆地域の方より (新中島北地区長：目黒氏)
 - 前回区民の集いに花水木の皆さんにも参加していただきありがとうございます。チーム数を減らしたため芋煮会の時間が早まってしまい、折角参加してもらったのに申し訳なかった。12/13(木)ひだまりサロンでクリスマス会を予定しているので参加してください。
- ◆外部評価報告 (引地)
 - 外部評価についていただいた評価と助言
 - ・家庭的な雰囲気をご利用者さん、スタッフの皆さんの表情がとても良い。
 - ・勉強会等スタッフだけでなく代表も参加し、意見を出し合っていること。代表が経営者的な視点ではなく、利用者さんやご家族、第三者の視点で助言していることが、ここをよりよくしている。
 - ・運営推進会議に構成メンバーとして位置付けるのではなく、ご家族、利用者さんが誰でも参加できるというかしこまらない形が意見を出しやすくし、関係性ができていると思う。
 - ・災害対策について。近くにけやきの杜やタンポポの施設があるのでお互いに連絡を取り合い、体制を作っていくとよいと思う。地域の高齢化が進んでいる中、花水木と協力し外へ避難し見守ってもらったり、区長さんに参加してもらおうとなおよいと思う。
 - ・入居者が「帰りたい」という思いに対して、事情を察し、それをご家族と連携して自然に実現していることが良いので今後も続けていってほしい。
 - ・食事について。一番の楽しみは食べる事。栄養バランスがいくら良くても食べなければ意味がない。その点、嗜好をとらえながら食べられるメニューを考えていて良い。調査の方が昼食と一緒に利用者さんが喜んで食べていたことに感動。野菜等も工夫してたくさん入っていてバランスの取れた美味しい食事でした。いただいた食費を大切に外事や行事などに工夫していることが、やはり女性の経営者でないと出来ない発想だと感じた。
 - ・スタッフひとりひとりが利用者さんのことを考えケアしている。今後もっとよりよくしていくためには、ここで立ち止まらずに、日々考えたケアに前進していってほしい。
 - ご家族、地域の方より、外部評価報告に対して率直なご意見いただいています。
- ◆ご家族よりご意見、ご要望
 - ご家族、地域より
 - ・アンケート率直に書いてあって良かった。利用者の役割やできることを取ってしまえば良いケアではないということ。役割がなければ死んでいるのと変わらない。もう一度行き過ぎない介護、個性を生かしたケア。どういう最期を迎えるのがいいのか日頃から話し合っていていきたい。
 - ・病院への付き添いはスタッフが付いて行くのはなかなかできないのが現状。預ければなしではなく大切な親の状況を自分たちも知らなければならぬ。
 - ・ここ1～2か月は体調不良なく安心して居る。久しぶりに会いに行くと、認知が進んでるなーと感じることもある。他人に見てもらった方がいいんじゃないかと預ければなしになってしまっている。話がかみ合わない時、会いに来たくないと思ってしまう。他の家族の声が聴けるのがいいと思っている。
 - ・週1回しか来れないが、いつも穏やかな顔をして居る。高齢なので今後今のような生活が難しくなるのかなと先のことを考えると不安になる。具体的にどうして行けばよいのかなと。→状況に合わせてその都度家族と相談する。
 - ・元気なうちにいろんなことを聞いておけば良かったと後悔している。自分が年を取った時はきちんと残しておきたいと思った。
 - ・皆さん一生懸命やっている姿勢が伝わってくる。その姿勢をなくさないでほしい。いろんな人の体験を含めて成長していってほしい。
 - 代表より
 - ・ご利用者のご家族で同業者の方からの叱咤激励がありがたい。話を聞くとたくさん勉強になる。集団ケアは簡単。ひとり一人を把握していないと満足な対応はできない。情報がここだけにならないように常に視野を広げていきたい。
 - ・ご家族が率直に意見を言ってくれていただけるとありがたい。親のことをたくさんお話していただき近親感と家族的になっている。死について語ることはタブーではなくなった。ご家族の皆さんもどうぞ最期看取りのことも考えることも大切だと思います。
 - 行政より
 - ・まだまだ向上していこうという気持ちがあることが良い。介護保険→維持・向上。できることを少しでも長くできるよう、引き出す介護を続けてほしい。いつでも心を開いて話してくれていい雰囲気だと思う。
 - ・家族の思いだけでなく本人の思いを認知症になる前から話し合うことができればよりよい生き方になるのかなと思う。今は認知症の方も自分の生き方を尊重される世の中になったので、意見を引き出してほしい。
- ◆感染予防について
 - インフルエンザ、ノロの流行する季節になりました。上着は玄関で脱ぎ、うがい手洗いのご協力お願いいたします。
- ◆身体的拘束適正化委員会

- ◆花水木クリスマス会について
 - 平成30年12月22日(土) 16:30～花水木にて行いますので、ご参加よろしくお願いたします。



グループホーム

花水木 通信



(有)カナガミケアリンク No.173 平成30年12月10日発行

木枯らしが勢いよく通り抜ける冬本番の季節になりました。時折顔を出すお日様の暖かさに日向ぼっこを楽しむ方、室内での体ほぐしリトミック、そして編み物・折り紙など、得意なことを生活リハビリに取り入れ、好きなことを楽しみ毎日過ごしています。よく話題になるのは季節の美味しいもの。特に地域に根付いている柿は、甘柿、渋柿ともに人気があり、冬の風物詩である干し柿作り、柿の皮のむき方や渋の抜き方など、それぞれ話は尽きません。寒さが厳しくなりました。体調に十分気をつけ、水分補給、体温調節などに気を配り、新しい年を迎える準備をしながら生活を楽しむ暮らしをしたいと思えます。



花水木 折り紙創作教室

落ち葉を使って皆さん思い思いに組み合わせ、蝶々や花を試行錯誤しながらも可愛い作品が完成。



色々な色を好きなだけ貼り合わせて自分だけの紅葉の出来上がり♪



皆様の作品を組み合わせ一つのタペストリーが完成!



11月は、ゆうゆうホームの文化祭や地区の芋煮会に参加しました。皆さんそれぞれこの日を楽しみにしていました。沢山の方々との触れ合い歌や劇を楽しみ、美味しい食事に満足の様子で「楽しかった!」「良かったよ〜♪」とたくさん話をしてくれました。ありがとうございました!

ゆうゆう祭



歌や演劇があり、最初から最後まで楽しめました。小さいお子さんが出てくると「あんな小さい子もやんのかい?ほ〜!」と感心関心!



可愛いロボットのアザランのぬいぐるみに癒された Fさんと Tさん「わ〜!可愛いな〜。いいなあ、これ♪」と何度もなででは触れてきました。

芋煮会

地区の皆さんから芋煮汁とおむすびを頂きました!「美味しいない♪」と箸が進み、おむすびもペロリと完食!食欲満点で満足の笑顔。



久々の教員時代の友人との再会があり、満面の笑顔に♪思い出話に花が咲きました



職員のお子さんと時間を忘れて遊び、風船を投げてほしくて「こっちだよ〜」と手招きする皆さん。和やかな時間を過ごしました。

いつも笑顔で丁寧な対応に強い信頼での絆。在宅酸素業者さん、長い間ありがとうございました。



日常ひとコマ

昔遊びのあやとりが始まると、手順良くいろいろなものが生まれ、難しいはしごを丁寧に教えてくれるMさん。何度も繰り返しながら一緒にできた時の喜びを分かち合いました♪



一つ一つ作る紅葉のパーツ作り。目を近づけたり離したりとしながらも真剣な表情で作業。完成すると一仕事やり切ったような満足な笑顔を見せてくれているSさん働きの姿に感服です!

ボランティアの方からお借りした吊るし雛。「小っちゃくて可愛いごた。」「色々ついでるね!」と見て楽しむ方や触ってみるなど、それぞれ思い思いに楽しんでいます♪



空は青空で、とても気持ちの良い日!太陽に向かって皆で「万歳!!」自然の空気を胸いっぱい吸い込みその日は一日元気いっぱい過ごしました。



久しぶりの市内の喫茶店ブローチで好きなコーヒーとケーキを注文し、おしゃべりしながら嬉しそうに召し上がり、「あ〜!美味しいね。」と外出での楽しいひとときを過ごしました。

林檎のケーキ作りに挑戦!スタッフと一緒に材料を混ぜ合わせ、久しぶりの料理に満面の笑みのYさんでした♪



遠方からご家族が会いに来訪し、お互いの元気な姿に一安心

